

大本 愛善 学苑 だより

今回は、学苑の1日はどんな感じ？ 学苑生はどんな生活をしているの？ との疑問にお答えします！

学苑生は毎朝5時半起床、部屋、寮の掃除、学苑舎の掃除を行います。これは日々の生活の場を清め管理すると同時に己の「心のそうじ」を行うことにつながります。

清掃が終わると万祥殿の朝拝に参拝します。一日の始めと終わりに神さまにごあいさつをさせていただくことは、大本信徒の基本としてこれを励行しています。



初々しい初稽古



美しい祭式目指し奮闘



学苑の畑でお土に親しみます！

神苑巡拝後、朝食、学苑周辺の清掃と続き、9時から学苑で神前で朝礼を行います。引き続きご神書拝読を行い、10時から授業が始まります。

学苑では、午前1枠、午後に2枠の授業があり、定期、不定期のカリキュラムがあります。

定期の授業は教義、大本の歴史、エスペラント、英語、人類愛善活動、祭式、合気道、書道、和裁、料理、茶道、謡曲仕舞、八雲琴（女子）などです。

不定期の授業には教本検定、短歌、愛善歌、海外研修、など

があります。そのほか霊山霊地参拝、農事作業、本部行事や大祭執行体制にもご奉仕しています

夕拝、夕食後は基本的に自由時間となります。ご神書拝読、授業の予習復習などに取り組み、日誌を記しながら、静かに一日をふり返ります。

第1期生が学苑の門をたいたいてから、早くも3カ月。学苑生は神苑の恵まれた環境の中、日常生活と様々な研修を通して自己の「身魂磨き」と研鑽に努めています。

これからのように成長してゆくのが、あたたかく見守っていただければと思います。

学苑男子部担任 時松 治彦 報



すがすがしく鉢伏山に参拝